



SURUGADAI UNIVERSITY

駿河台大学 NEWS

発行

駿河台大学経営企画室
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 TEL. (042)972-1135
E-mail : sogokikaku@surugadai.ac.jp

2019年11月27日 No.216



第33回 駿輝祭が開催されました

本学の学園祭「駿輝祭」が10月26日(土)・27日(日)の2日間に亘り開催されました。

今年も模擬店やゼミ展示のほか、北野大氏の講演会や、桜田通氏によるトークショー、特別映画上映会、地域創生講演会などのイベントが催され、2日間で5000人を超える多くの方にご来場いただきました。

取材にご協力いただいた皆様、ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



平井ゼミナール

ゼミ活動の内容展示と、ドリームキャッチャー作りなどを体験していただきました。



一般参加の駿大生

模擬店やステージなど、学園祭ならではの雰囲気を楽しめました。



ボランティアの資金集めの一環として、手作りのイヤリングなどを販売しました。

国際ボランティアサークル



法学部 選挙サポーター

選挙が身近に感じられた！と言われて嬉しかったです。



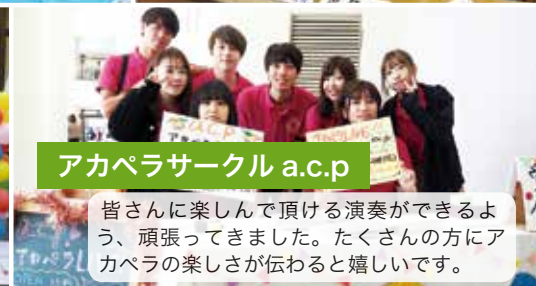
間島ゼミナール

普段会えない人にインタビューをしに行きました！さらにゼミ宿では短編映画とMVも作りました。



FroLic

昨年に引き続き、今年も味王いただきました!!



アカペラサークル a.c.p

皆さんに楽しんで頂ける演奏ができるよう、頑張ってきました。たくさんの方にアカペラの楽しさが伝わると嬉しいです。



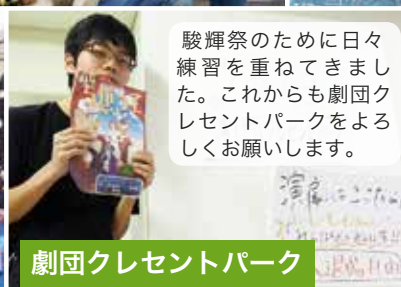
沖縄県人会

今年はたくさんのイベントに出演します。今からとても楽しみです！



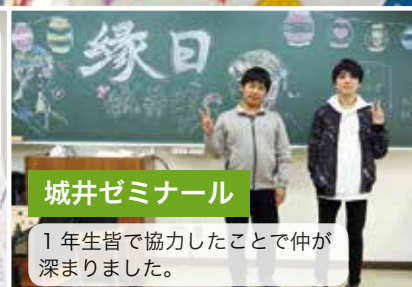
法学部女子会

今年もいっぱい売れました！ありがとうございます。イエーイ♡♡



駿輝祭のために日々練習を重ねてきました。これからも劇団クレセントパークをよろしくをお願いします。

劇団クレセントパーク



城井ゼミナール

1年生皆で協力したことで仲が深まりました。



駿輝祭

2019年度 学内展示(発表) 表彰

駿輝祭における学内展示・発表を促進していくことを目的に、毎年優れた展示や発表を行った団体に対し「理事長賞」「学長賞」「同窓会長賞(※)」「奨励賞」の表彰が行われています。

展示内容や学生の来場者への対応及び説明等について評価を行い、各賞の受賞団体を決定し、賞状と表彰金が授与されました。

※「同窓会長賞」は、ホームカミングデーに来場した同窓生(卒業生)にアンケートを配付し、投票の多かったゼミが受賞。



理事長賞

平井純子ゼミ
(現代文化学部)

展示内容: HANNO HAPPY
WOODY PROJECT

福留 隆一さんのコメント
(現代文化学部4年 千葉県立姉崎高校出身)

ゼミ長の福留です。今回、平井ゼミでは古民家再生活動についての展示と、ドリームキャッチャー作り、木の箸作りを体験してもらいました。来場してくださった皆様に、ゼミ活動の内容や体験に満足していただき、とても嬉しかったです。また、理事長賞もいただくことができ、大変光栄です。



学長賞

城井光広ゼミ
(メディア情報学部)

展示内容: 作品展示

青木 榛花さんのコメント
(メディア情報学部3年 埼玉県立所沢西高校出身)

城井ゼミ3年生は、飯能の木材である西川材を使用した木製のおもちゃ等を展示し、4年生は架空の企業をイメージしたビジュアルアイデンティティをまとめたパネルを展示しました。時間をかけて作り上げた作品がこのような名誉ある賞をいただけて、改めてここまで頑張ってきて良かったです。



同窓会長賞

大澤傑ゼミ
(法学部)

展示内容: 理想の国に移住しよう!

山下 海斗さんのコメント
(法学部2年 埼玉県立川口高校出身)

ゼミ生全員で一丸となって駿輝祭に向けて準備してきたので、とても嬉しいです! 賞を取れたことは、我々ゼミの皆にとって自信につながり、これからの学習の大きな励みとなりました! 興味を持って来てくださった方々、政策についてご教授してくださった方々、ありがとうございました。



奨励賞

井上智史ゼミ
(メディア情報学部)

展示内容:
映画のグラフィックデザイン展

ゼミ生一同からのコメント

展示した作品を見てもらう経験をし、人の作品をただ見ている自分とは違う視点を得ることができました。制作中はいろいろありましたが、展示を完成させることができ自信につながりました。



奨励賞

野村正弘ゼミ
(メディア情報学部)

展示内容: 和文化再発見 着物・きもの・kimono 駿輝祭特別展示

久保田 優希さんのコメント
(メディア情報学部3年 群馬県立桐生女子高校出身)

飯能市立博物館様にて実際に行った展示を駿輝祭特別展示として組み直しました。展示物の順序や説明書きの位置、パネルのレイアウト等を皆で話し合い、最後まで微調整を重ねた結果、奨励賞をいただけたのだと思います。改めて、ご協力いただいた飯能市立博物館様とのむ様様に、厚く御礼申し上げます。



駿大「味王」
グランプリ
2019



駿輝祭に出店している模擬店の中

から、美味しさNo.1を決める「味王」。

来場者の皆様の投票により、昨年に引き続き、「FroLic」がグランプリを獲得しました!!

1位 FroLic
(水餃子)

2位 留学生会
(小籠包)

3位 沖縄県人会
(沖縄そば)

〈FroLic受賞コメント〉

代表: 矢澤 優(心理学部3年 埼玉県立飯能高校出身)

昨年よりも多くの方に水餃子を食べただけで、メンバー同驚きが隠せません。協力し頑張った甲斐がありました。駿輝祭初参加の1年生もサークル出店の楽しさや、信頼できる仲間の大切さを知ることができたと思います。良い思い出ができました。来年も是非、水餃子を食べに来てください!



地域インターンシップ 報告会を開催しました



10月10日(木)、地域インターンシップ報告会を開催しました。今年度「インターンシップⅠ」を履修し、希望する受入れ先(31企業・団体)で実習を行った学生(49名)と山梨放送インターンシップに参加した学生(4名)が、事前指導や就業体験を通じて学んだことや今後の抱負について発表しました。学生たちは、緊張しながらも自分の言葉で工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。

報告会には、9企業・団体の方々も参加され、実習に対する労いや卒業後の進路について温かい励ましの言葉をいただきました。その後に行われた懇親会では、学生たちによるプレゼン評価により得点の高かった学生を表彰しました。最後に、同窓会会長で「インターンシップⅠ」の講師も務める新井克明非常勤講師が挨拶して閉会しました。

本学の地域インターンシップは「地域の教育力」を活かし、夏休みの実習だけでなく春学期の事前学習も含め、地域と大学が協力して、学生に将来の進路を真剣に考える機会を提供しています。

参加学生のコメント!

法学部3年 小菅一輝

(埼玉県立久喜北陽高校出身)



私は、所沢市役所経営企画部企画総務課で6日間のインターンシップ実習をさせていただきました。

実習で体験させていただいた業務内容は、事務作業、男女共同参画推進センターふらっとでの講座イベントの補助、オリンピック・パラリンピック推進事業の企画発案、企画会議への参加です。短い期間の中で様々な業務を体験し、多くのことを学ぶことができました。

実習を通して、市役所の仕事は、市民の方を想い、市をよりよくしていくために市を表側、そして裏側から支える仕事だと感じました。そして、仕事に対して真摯に向き合う姿勢が必要であり、それを貫くことが市役所の仕事を支えていると気づきました。職員の方々が真剣に仕事に向き合う姿は、特に私の心に焼き付いています。

報告会では、話したいテーマをまとめておき、会場で聴いてくださっている皆さんにより印象深く伝わるよう、実習を思い出しながら手振りも交えつつ心から伝えるように工夫しました。

comment

経済経営学部3年 森田望夢

(高知県立高知南高校出身)



私は狭山市役所へのインターンシップに参加し、中央公民館に配属となり、そこで実習を行いました。

実習では主に公民館での子ども、親子向けの講座の運営や、その講座のアンケート集計をさせていただきました。このような講座の運営側になるのは初めての経験で、住民の方々への対応や、質問されたことへの回答など実際に携ってみなければわからなかった苦労がありました。今回のインターンシップでは同じく参加していた他大学生とのグループワークや実習の報告会もありました。他大学との交流がなかった自分にとって、とても新鮮な体験で、自分とは違う意見や体験を聞くことができ、非常に充実したインターンシップでした。

また、積極的に行動することができ、仕事をする上で意識することや、他人の意見に触れる重要性など、多くを学ぶことができました。

報告会では、自分が学んだことなかで最も伝えたいことを強調して伝えられるよう意識し、わかりやすい具体的な体験を話すように注意して発表しました。

comment

心理学部3年 本田依里

(東京都立武蔵丘高校出身)



私は株式会社山口企画設計で6日間、1つの家がお客様に引き渡されるまでに、どのような過程で仕事を行っているのかを部署ごとに見学と実習をさせていただきました。

お客様への誠意ある対応こそ、お客様との信頼関係の構築や、お客様のより良い家づくりを叶える為に大切だと学びました。特にそのことを感じたのは、一軒家の間取り図を作成したときです。お客様の立場を考え、どのように家で過ごすのかを追求することが、お客様の夢を叶える一軒家になり、さらに日々変化するニーズを捉えることや専門知識の深さが、より良い提案になり、お客様からの信頼に繋がると思いました。

報告会では、私が実際に間取り図で工夫した点や苦労した点も踏まえて、学んだことを丁寧に話していきましました。とても緊張しましたが、しっかりと伝わるスピーチをすることができたと思います。インターンシップを通して学んだことは働く際に大切にしていこうと思います。

comment

check!!



飯能信用金庫による寄附講座 「地域と金融」公開授業のお知らせ



本学では、秋学期の火曜日2時限に飯能信用金庫による寄附講座「地域と金融」を開講しています。毎回異なる部署の講師(職員)が、新人の頃からの体験談などを盛り込んだ内容を講義しています。実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命や役割といった金融全般を学ぶことができる講座で、学生たちに人気の授業です。

来たる12月10日(火)は地元の企業経営者2名を講師にお招きし、年明け1月7日(火)には、飯能信用金庫の役員が講師となり講義されます。この2日間は本学に在籍する学生を対象として特別に公開授業として行いますので、所属学部・履修登録の有無に関わらず、全ての学生が聴講できます。多くの学生の参加をお待ちしています。

(会場：講義棟4階3405教室)

check!!



授業探訪「スポーツと社会貢献」 (現代文化学部 2・3年生開講授業)

「スポーツ」と「社会貢献」から何をイメージするだろうか、という問いから授業は始まります。学生の多くは2020東京オリンピック・パラリンピックでのボランティアを挙げます。でも、それは社会貢献だろうか。そんな揺さぶりの中から、スポーツの社会貢献のあり方について考えます。

スポーツには伝統的に地域の青少年スポーツを指導するスポーツボランティアが存在します。これは「スポーツへの社会貢献」といえることはありません。授業ではスポーツが社会にかかわる意味を考え、「スポーツからの社会貢献」という視点から、これまで経験しなかったスポーツの意味と価値から社会貢献の姿を捉えようとしています。

社会貢献の想いは、私・私たちが社会にかかわることなくして成立しません。これは、私たちが社会の一員として生きていくことにほかなりません。道で倒れている人に「大丈夫ですか」と言葉を発する私たちの存在が何より重要です。それには一歩を踏み出す知識と経験が勇気を生み出す力となります。

授業では、学生たちが考える社会貢献の考えをこれまでの社会貢献のあり方を提示しながら整理していきます。そして、私たちが「大丈夫ですか」と声をかける力として「救命救急法」を社会にかかわる一歩の力として学習します。その後、飯能市の中高齢者・障がい者の社会参加とスポーツの状況を学習し、国際貢献としてのスポーツへの学びにつなげていく計画です。30名の学生の積極的ににかかわろうとする姿勢は、スポーツが社会課題の解決に貢献する可能性を感じさせるものです。



現代文化学部教授 時本識資

就職活動アドバイザーが後輩の皆さんをお待ちしています！

今年も、内定をいただいた4年生が、就職活動アドバイザーとして3年生の就職活動をサポートします！
就職活動における貴重な経験談が聞けるチャンスです！素朴な疑問でも構いません。気軽に相談してみましょう。



法学部4年 貝瀬 綾伽
(八王子学園八王子高校出身)
[内定先]：(株)ヤマデン

私が就職活動で意識していたことは「いかに楽しく行動するか」です。私もそうでしたが、就職活動は初めてのことが多く、漠然とした不安感が生まれると思います。その中で様々な工夫をすることで、就職活動は楽しかった、と思えます。そして、私の経験が皆さんの役に立てれば良いと思っています。短い時間ですがよろしくお願ひします。

【場 所】 キャリアセンター(第二講義棟1階)

【相談時間】 月曜日～金曜日 13:00～17:00(交代制)

【利用方法】 キャリアセンターでお待ちしています。遠慮なく声をかけてください。予約を取ることもできます。

【相談内容】 就職活動について、色々な質問にお答えします。3年生だけではなく、1・2年生も大歓迎です！



法学部4年 鈴木 尚虎
(福島県立光南高校出身)
[内定先]：東京消防庁

私は就職活動において自己分析、企業研究に力を入れました。企業が求めている人材を正確に分析し、それにあったエピソード、立ち振る舞いを使い分けてきました。これらを実現するために学外のインターンシップに多く参加し実践を積むことが重要になると思います。アドバイザーとして民公、どちらも受けた身として納得のいく就職活動にできるようサポートしていきたいと思っています。



現代文化学部4年 遊馬 秀平
(東亜学園高校出身)
[内定先]：(株)京三製作所

私が就職活動で一番心掛けていたことは準備です。例えば、志望動機の書き方やグループディスカッションの進め方、面接の進め方などをいかに他の大学生よりも数をこなすまで、納得する就職活動になるかどうか決まります。志望動機の書き方、グループディスカッションや面接の進め方はもちろん、就職活動をなから進めればいかにわからない方でも相談に乗り、アドバイスしていきたいと思っています。



経済経営学部4年 山本 一夢
(秋田県立大館鳳鳴高校出身)
[内定先]：古河機械金属(株)

私は駿河台大学の学生の中で最も就職活動をしてきたという自負があります。また、様々な業界を受けてきました。そのため、一般企業に関する相談であれば力になれると思います。皆さんのサポートができるよう私も頑張りますので、気軽に相談に来てくれると嬉しいです。



現代文化学部4年 牧野 航
(埼玉県立豊岡高校出身)
[内定先]：飯能信用金庫

皆さんの就職活動がより良いものとなるよう是非サポートさせてください。私は、面接に対する対策や業界選びが得意だと思います。そこについてのご相談はもちろん、その他のご相談もたくさんお待ちしております。皆さんの就職活動が楽しく、充実したものになるように一緒に頑張ります。



メディア情報学部4年 小沼 比沙乃
(千葉県立野田中央高校出身)
[内定先]：(株)ティー・ワイ・オー

春から広告会社に内定が決まりました。小沼です。就職活動をする上で大切だと思うことは、自分自身と向き合い、自分をよく知ることだと思います。私の場合、「自分のやりたいことがしたい」という想いが強かったので、そこを軸に就職活動をしました。就職活動はいろいろな自分と向き合える絶好の機会だとも思うのであまり気負わず楽しんでやるくらいのスタンスでいいと思います！メディア系の方はもちろん他学部の人も、相談に来てください！自分の個性や色を大切にしていきたいと思います！



心理学部4年 栗田 由里香
(千葉県立野田中央高校出身)
[内定先]：(株)天極

私は就職活動をスタートするのが少し遅かったです。不安を持ちながらも内定をいただいたのは、大学の就職支援制度をフル活用したからです。一人で悩まないで、キャリアセンターやアドバイザーを頼ってください！お金もかからないし、授業の合間に相談に乗ることもできます。服装から面接のことまで、多様な相談に乗ります！

年内オススメ就職イベントをピックアップ！！

キャリアセンターでは3年生を対象に、就職活動の準備のための様々なイベントを企画しています。そこで今回は特にオススメしたい年内開催の就職イベントをピックアップします！

就活トレーニング

企業の採用試験で必ずといっていいほど取り入れられる「履歴書」「面接」「グループディスカッション」について、少人数制で個別アドバイスが受けられる年内唯一の実践的な講座です。早期化する就職活動スケジュールへの不安を解消するための準備をしましょう！

実践①	実践②	実践③
履歴書ブラッシュアップ	面接練習	グループディスカッション
11月30日 12:00	12月7日 12:00	12月14日 12:00

学内業界研究セミナー

毎年、就職活動学生が苦戦しているのが「業界研究」です。そこで、各業界を代表する企業の方々をお招きし、直接仕事の内容やイメージをお話いただく「学内業界研究セミナー」を年内に2回開催します！やりたい仕事がある人は更に理解を深め、まだ具体的に決まっていない人はこの機会に様々な業界を知ること、自分の視野を広げてみましょう！世の中には、なかなか知られる機会の少ない魅力的な業界が溢れています！

3年生(2021年3月卒業予定)対象	4年生(2021年3月卒業予定)対象
11月20日(土) 13:00-15:00	11月27日(土) 13:00-15:00
12月4日(土) 13:00-15:00	12月11日(土) 13:00-15:00

「企業・団体と大学との懇談会」を開催しました！

11月1日(金)、日頃より求人・企業訪問・インターンシップ等で多大なご支援をいただいている企業・団体の人事・採用担当者様等をお招きして、「企業・団体と大学との懇談会」を開催しました。

第一部として大学生の採用と就職活動の動向及び今年度の本学の就職状況報告をキャリアセンター事務部長より行いました。第二部では夏期休業期間中にインターンシップを経験させていただいた江川大稀さん(心理学部3年・新潟県立阿賀黎明高校出身)と草牧知樹さん(心理学部2年・茨城県立土浦第一高校出身)より赤門塾株式会社様での活動を、二瓶風花さん(法学部3年・福島県立喜多方東高校出身)より鳥居観光株式会社様での活動の報告が行われました。

また、この懇談会は準備から当日の受付・司会進行等の運営を、学内インターンシップの一環として、伊藤実さん(メディア情報学部3年・東京都立富士森高校出身)、宮崎大空さん(メディア情報学部2年・高崎商科大学附属高校出身)、眞田祥吾さん(法学部1年・神奈川県立霧が丘高校出身)、南部凌さん(経済経営学部1年・埼玉県立羽生実業高校出身)が担当しました。

企業・団体の皆様と本学教職員による活発な情報交換も行われ、いただいた貴重なご意見・ご指導を、今後の就職・キャリア支援に活かし、一層充実させていこうと、教職員一同思いを新たにしました。



心理学部3年 江川大稀さん(右)
心理学部2年 草牧知樹さん(左)



法学部3年 二瓶風花さん



左から、メディア情報学部3年 伊藤実さん、メディア情報学部2年 宮崎大空さん
法学部1年 眞田祥吾さん、経済経営学部1年 南部凌さん

メディアセンターより

from the Media Center

学生選書ツアーを実施しました



夏期休業期間中の8月30日(金)、メディアセンターで働く学生スタッフ7名が、東京・神田神保町の三省堂書店本店に出向き、選書ツアーを行いました。選書ツアーとは、メディアセンターに所蔵したい本を、学生が直接書店で選ぶことができるイベントです。メディアセンターを利用する方におすすめしたい本や、学習に役立つ本を選ぶ、学生による学生のための企画です。

今回の選書ツアーでは、自分の関心のある分野、メディアセンターにあまり所蔵されていないジャンルなど、各自がテーマを決め、選定しました。また、選定した本を一人でも多くの方に手に取ってもらえるように、魅力的なPOP作成を目指して、書店スタッフによる「POP作成講座」も受講しました。学生スタッフが選書した図書は、メディアセンター3階の『学生推薦図書コーナー』に並べられており、手作りのPOPも順次追加予定です。親しみやすい本や話題の本がたくさんありますので、ぜひご覧ください。

学生スタッフおすすめの一冊

- 「木曜日にはココアを」 青山美智子(著)
- 「レンタルなんもしない人のなんもしなかった話」レンタルなんもしない人(著)
- 「みかんとひよどり」 近藤史恵(著)
- 「戦う男の軍服図鑑」 軍服を愛でる会(編)
- 「弦のないハーブ」 エドワード・ゴーリー(著)
- 「Algorithmic design with Houdini : Houdiniではじめる自然現象のデザイン」 堀川淳一郎(著)
- 「GOSICK BLUE」 桜庭一樹(著)

選書ツアーの感想

私は選書ツアーには初参加でした。大きな本屋さんで、見たこともない沢山の本に触れ、多くの刺激を受けました。そして、「POP作成講座」では、新たな本の魅力や興味をそそる書き方を教えていただきました。人をワクワクさせるものが詰まったとても楽しい企画でした！

前回は話題性や幅広いジャンルを意識しましたが、今回はより私自身がお勧めしたい本を選書しました。特に、同じ学部や似た趣味を持つ方々に興味を持っていただけたと思います。また、今回初めて「POP作成講座」に参加させていただき、「思わず手に取ってしまう」POPの書き方を教えていただいたので、是非注目してみてください！

前回の選書では平積みや面陳列の図書にばかり注目していたので、今回は棚の図書にも気を配るよう心がけました。また、今年は選書ツアー後に「POP作成講座」を受講しました。書店員の方から文字の書き方や言葉の選び方を教わり、大変勉強になりました。



POP作成講座



選書ツアーの様子



メディアセンター3階 学生推薦図書コーナー

海外語学演習 2019 ビフォー・アフター

今年の夏休みを利用して、「海外語学演習」提携校へ27人の学生が留学しました。3～5週間という短い期間の中で、さまざまなことにチャレンジし、成長の手ごたえを得ることができました。今号では、3人の学生より感想を寄せてもらいましたので、紹介します。

なお、ここに掲載することのできなかつた学生の経験談は、グローバル教育センターのホームページ (<https://www.surugadai.ac.jp/lec/>) で、「海外語学演習ビフォー・アフター」としても紹介しています。そちらもぜひ、チェックしてください！



現代文化学部1年 あべ ひかる
埼玉県立所沢高校出身 安部 光流



カリフォルニア大学サンディエゴ校 (米国)

初めての海外、英語漬けの生活。渡米前から不安は尽きず、渡米から1週間経っても英語の勉強はおろかアメリカでの生活を楽しむ余裕も私にはありませんでした。若干ホームシック気味にもなりました(笑)。そんな中、海外に来て初めての友達ができました。その人は韓国から同じプログラムに参加していた同い年の留学生で、海外に来たのも初めてらしく意気投合し、その日からは「不安じゃない人なんていない!」と自分に言い聞かせ積極的に会話するようになりました。そうしたら残りの3週間はとても楽しめて、少しは自信がついたのかなと実感しました。

様々な国からたくさんの留学生が来ているので、海外から見たら日本はどんな国なのか、など色々意見交換ができて楽しかったです。ホームステイ先には、ホストマザーと犬や猫がおり、休日は庭で遊んだりドライブに行ったりと充実した日々を送りました。サンディエゴにはきれいなビーチが点在しており、温暖な気候と合わさってとても楽しかったのでは非訪れてみてください。(ビーチサンダルを忘れずに...)

前述したように、最初の1週間は本当に何もできず今更ながら悔しい思いでいっぱいです。しかし海外語学演習に参加できたことにより自信と次の目標ができました。海外での経験は必ず何かしらの変化を与えてくれると思います。



メディア情報学部2年 もちづき らん
埼玉県立川越総合高校出身 望月 蘭



北京師範大学 (中国)

私はもともと中国語を第一希望としていたわけではありましたが、勉強していくにつれ中国語の授業がとても楽しくなってきました。昔から漢字の勉強が好きだったので、向いていたのだと思います。以前はパスポートを作ることで面倒だと思っていた私が、先生からの強い推薦を受けて留学に行こうと決めました。

北京では授業が終わると駿大から一緒に参加した演習生の皆と、大学食堂でご飯を食べるという生活でした。北京時間の朝8時から授業だったため、朝ご飯を食べる時間はあまりありませんでした。その中でも、私は北京のご飯が合わず、お腹が痛くなり病院に行ったら2時間半点滴を打たれました。日本にいた時、中国では点滴を打つのは一般的だと教科書で学んでいたのですが、それは本当でした…。

こんな思い出も今ではいい経験になったと感じます。帰ってきた今でもついこの間のように北京を思い出して、留学生活に戻りたくなっています。北京師範大学の職員さんや先生方だけでなく、日本から来ていた他大学の留学生との出会いもあったので本当に行ってきたです。また、短期間でもいいので中国に行ける機会があればいいなと思います。本当に中国が大好きになりました。



経済経営学部2年 すずき かずき
秋田県立秋田北鷹高校出身 鈴木 和輝



ウィーン大学 (オーストリア)

私は海外語学演習でオーストリアのウィーンへ行ってきました。ウィーンは8月の4週間コースと9月の3週間コースの2つに分かれており、せっかくの機会なので少しでも長く滞在したいと考え、私は8月の4週間コースへ参加しました。

ウィーン大学の語学演習プログラムは9:00～12:00までで、本学の講義に換算すると2コマ分にあたります。授業はコミュニケーションを重視しており、教わった文法をすぐアウトプットするような形式でした。授業は英語で説明されるため、英語が苦手な私は苦戦しましたが、現地で知り合った日本の学生の手を借りて、なんとかこなしていました。

ウィーンでの生活は日本とは異なる部分が多く見受けられました。例えば、硬水だったので、シャンプーが落ちにくく、髪の毛が痛みました。

紆余曲折ありましたが、日本では味わえないような貴重な体験をすることができました。



海外語学演習とは

毎年、春または夏の長期休暇を利用して、海外の提携大学で、主に語学を勉強してくる4単位の授業科目です。参加者の感想にも寄せられていたとおり、ただ語学を学ぶだけではなく、様々な国や日本の他大学から来ている留学生との出会いや、ホストファミリーとの交流、異文化体験なども「海外語学演習」の醍醐味です。費用や期間など、詳しいことが知りたい場合は、グローバル教育センター(第二講義棟5階)まで。ぜひ、みんなで参加しましょう!

2019年度海外語学演習派遣実績

期	語学	国・地域	派遣先大学名	人数
夏	英 語	英 国	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	2人
		米 国	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2人
		オーストラリア	モナシュ大学	1人
	ド イ ツ 語	オーストリア	ウィーン大学	8人
	中 国 語	中 国	北京師範大学	6人
		台 湾	台湾師範大学	1人
春	韓 国 語	韓 国	延世大学	6人
	ス ペ イ ン 語	ス ペ イ ン	サラマンカ大学	1人
	英 語	フィリピン	フィリピン中央大学	9人

※春季のフィリピン中央大学は現時点での予定。



駿大スポーツ情報

駅伝部 吉里駿選手 箱根駅伝関東学生連合チームに選出!

10月26日(土)に行われた第96回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会の結果を受け、本学駅伝部所属の吉里 駿選手(法学部3年・大牟田高校出身)が、関東学生連合チームに選出されました。

関東学生連合チームは、箱根駅伝の出場権を得られなかった大学の選手のうち、予選会において優秀な成績を収めた16名の選手から構成されるチームです。本学の選手が選出されるのは、今回で6回連続となります。

吉里選手は11月3日(日)に開催された、学生三大駅伝の一つに数えられる全日本大学駅伝にも、日本学連選抜の一員として出場しました。

レース前に心境を伺ったところ、「ずっと憧れていた舞台なので楽しみな気持ちが大きく、プレッシャーはほとんどありません。駿河台大学の



代表として、チームに勢いを与えるような走りをしたいです」と語ってくれた吉里選手。

全日本大学駅伝での吉里選手は区間内順位14位、タイムは32分52秒。チーム順位を1区→2区地点で19位だった順位を16位まで上げ、力強い走りを見せてくれました。レース直後には「思っていた通りのレース展開とはなりませんでした、順位を上げることはできたので、ギリギリセーフという感じでしょうか(笑)。次の箱根駅伝では、チームとしてのプラスになれるような走りをしたいです」と力強く語ってくれました。

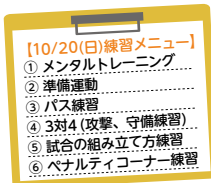
今後も駅伝部、そして吉里選手の活躍に熱いご声援をお願いいたします。



練習潜入レポート 第二弾 女子ホッケー一部編

練習潜入レポート第二弾は女子ホッケー部! 女子ホッケー部は里山の緑に囲まれたホッケー場で練習しています。

取材当日は10月20日の日曜日。全日本インカレを4日後に控え、監督、コーチ、選手、全員の緊張感も高まっている中での練習です。



練習の最初はメディテーション(瞑想)→今日の練習における目標の共有→サイキングアップ(気分を盛り上げる行動)のルーティンワークからスタートします。

これらの練習はメンタルトレーニングの一環として行われており、一度気持ちを落ち着かせてから一日の練習における目標を明確にし、そこから実際に練習へ入り、一気に気持ちを盛り上げていくという、試合時において理想的な精神状態を作り出すことを日々の練習から常に身につけていくために行われているものです。

心理学的な面からのサポートは本学にて非常勤講師も務めている穴戸渉コーチがリードをし、サイキングアップの時には選手が2~3人一組となり、手押し相撲やじゃんけんを思いっきり笑いながら行い、その直後のストレッチ時には逆に選手同士全く会話をせずに集中させる(コンセントレーション)など、徹底したメンタルコントロールのトレーニングが行われています。



穴戸渉コーチ

その後ラントレやプレー中に必要となってくるランニングスキルの練習を行った後、グループに分かれてパス練習へと移ります。



続いて行われたのは、3対4のゲーム形式の練習。攻撃3人・守備4人に分かれ、3対3の状況で攻撃中にボールを取られてしまったと仮定し、も

ともと守備についている3人と、ボールを取られてフリーになった選手1人の合計4人は不利な状況下でどう守るのかを組み立てていく練習です。

練習中は選手たちの間にいい緊張感があり、まるで本当に目の前で試合が行われているかのよう。前述したメンタルトレーニングによって常に緊張感と高揚感を保ったまま日々の練習に臨んでいるということがひしひしと伝わってきます。



3対4を終え、実際に今度対戦する相手をシミュレーションし、その相手に対抗するためにはどうすべきなのかを久我監督がフィールドを模したボードを使用して説明。

練習中の選手たちは主に上級生主導のうえ、お互いに修正していくべきプレーを自ら考え伝えあいます。選手たち誰もが真剣な面持ちで練習に臨む中、チームとしてお互いに気を配り、周りを見ながらプレーすることができているということが感じられる練習でした。



久我晃広監督



最後に行われたのは、フィールドホッケーを代表するセットプレーの一つ、ペナルティコーナーの練習です。試合において最も点が入りやすく、見た目にも派手でカッコいいプレーです。見ている側もついつい力が入ってしまいます。



最後はダウンをして練習終了。練習中には常にいい緊張感があり、日々の練習から監督・コーチ・選手が一丸となってチームを本気で良くしていくという雰囲気を感じ取ることができました。

今後とも女子ホッケー部の応援をよろしくお願いいたします!



輝く
先輩
No. 23

挫折の中で 得られたもの

医療法人 泰一会
法人経営企画事業部

かわむらたまひろ
河村雅裕さん

2007年度法学部卒業

現在の仕事

大学卒業後、IT関係の会社で4年ほど就業し、父親の病気を機に医療業界へ転職しました。その後、転職先の病院から補助金を頂き、働きながら看護学校へ通いました。4年間の通学を経て、看護師の国家資格を取得しました。現在は、飯能整形外科病院の外来、病棟での看護業務を行っています。

また看護業務以外に、電子カルテの導入、経営企画、新病院立ち上げについての仕事をしています。

仕事の魅力や困難なこと

一番の魅力は、患者さんからの笑顔です。歩けるようになった、痛みが和らいだ、傷が治ってきたなど、患者さんの抱えてきた困難が快方に向かうことを、ともに喜ぶことができます。

当院には、整形外科専門医、医療事務、レントゲン技師、検査技師、管理栄養士等のスペシャリストの他に、筋肉・骨の分野を得意とする柔道整復師がおります。彼らと一致団結して、重篤な患者さんの苦痛を緩和できたときには、何にも代えがたいやりがいがあります。

令和元年の台風19号は、川越市にも甚大な被害をもたらしました。他法人ではありますが、浸水してしまった施設がありました。医療法人 泰一会 木川理事長は率先して現地に赴き、被災された利用者さんを、当法人の「介護老人保健施設はつかり」へ受け入れました。残念ながら、利用者さんの情報は水に流れてしまったらしく、被災地の混乱もあり、対応は難しいものでした。しかし、公的機関や法人を超えた連携にて情報をかき集め、次々と搬送される利用者さんの状態を、医師とともに把握しました。そして、震える利用者さんを安心へと導くことができました。看護師の資格をとり、良かったと思える瞬間がそこにありました。

困難なこととしては、多忙であることです。救急、急変の患者さんは、待ってはくれません。その時々で優先順位を決め、対応する必要があります。頭や身体を酷使



し、勤務が終わった後、さらなる知識を身につけるため学習を行います。技術者としては当然のことだと思いますが、寝不足になりがちです。

駿河台大学在学中のこと

高校時代に夢になっていたスケートボードで頭部を強打し、大学時代も倦怠感などの後遺症に悩まされていました。2年間の浪人生活を送ったあと駿河台大学に入学し、仮面浪人と称し、必要最低限の授業しか出ていませんでした。大学2年生の時に肉体と精神の限界を感じ、1年間の休学をしました。全てが思うようにいかず、何を目標してもいいかも分からない状態でした。

相談に乗ってくれた両親や大学の友人には、私の気持ちは分からないと反発ばかりしていました。少しずつ外出が減り、ほぼ家からでない生活となりました。自己嫌悪が極まった時、友人から「銭湯に行こうぜ」との電話がありました。不快な思いをさせ、面倒な人間であったにもかかわらず、相も変わらず誘ってくれた優しさに、やっと気がつくことができました。また、私が今までどれだけの人に支えられてきたのかを思い知り、人のありがたさに涙しました。

その後は、法学部・行政法ゼミの倉島准教授、当時教務課の三井職員と相談する幅が広がり、体調が少しずつ回復し始めました。この頃に木川理事長と出会う機会があり、先生がやられておられるスタントアクションを始めました。最終的には、映画に出演するなどの好機を頂き、自信を持ち卒業、就職に至りました。

先輩へのメッセージ

世の中には、必ずあなたを想ってくれている人がいます。私は、大学の友人を始め、本当に人に恵まれています。しかし、辛い体験の中で恵まれていることに気付けたからであるとも思うのです。身の回りにいる方に、小さなことでも感謝の言葉を伝えてください。

挫折を恐れず、挑戦を続けてください。学生生活は楽しいことばかりではありません。失敗や挫折をすることもあろうでしょう。苦しんだ経験が深いほど、他人の苦しみを想像しようとする豊かな人間になれるはずです。今思えば仮面浪人に失敗して、社会人・看護師としての素養が、身についたのだと思います。また、挫折にめげず挑戦する場を変えたことで、厳しくも華やかな映画の世界を覗くことや、看護師という素晴らしい職に出会うこともできました。

令和2年12月、東京都東村山市に「スポーツ復帰」までをサポートする「多摩北整形外科病院」がオープンします。やりたいことに耳を傾けてくれる法人です。事務職をはじめ、私のように看護師になりたいという方も募集しております。興味のある方は、ご連絡ください。

Profile

愛知県出身。愛知県立時習館高校卒業
2003年 駿河台大学法学部に入学
2012年 医療法人 泰一会 医療統括課に配属
2013年 同法人 看護課に配属 飯能看護専門学校入学
2017年 看護師資格取得

Book de 募金 募金状況のご報告

本学では、経済的事情で学業の継続が困難な学生を支援するため、2012年度より「駿河台大学学費支援基金」を設立しました。Book de 募金は「駿河台大学学費支援基金」の原資とする為、皆様から読み終えた書籍、文庫、コミック、DVD等をご提供頂き、協賛運営会社である嵯峨野株式会社へ売却の上、その売却益をご寄付頂くプロジェクトとして、2013年8月より開始しています。皆様からの数多くのご支援により、2019年10月末時点でのご寄付は次のとおりとなっております。引き続き、皆様からのご支援を宜しくお願いいたします。

Book de 募金 募金状況 (2019年10月末現在)

ご寄付頂いた冊数	売却益(寄付金額)
29,188冊	505,049円

ご協力ありがとうございます。
引き続き、皆様のご支援を
よろしく願っています。



Book de 募金については学内に回収ボックスを設置すると共に、ホームページ、フリーダイヤルからも随時受付をしております。遠方の方でも、5点以上から、全国どこでも無料で宅配業者が回収に伺います。ご自宅に不用になった、本・DVDがありましたら、ご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

詳細は
こちら!



学内の回収箱(古本回収ボックス設置場所)

- 第二講義棟1F ロビー及び学生ラウンジ
- 本部管理棟1F 財務課前

学外からのご寄付のお申込み

(5点以上から送料無料でご自宅からご寄付いただけます)

- ホームページ <http://kishapon.com/surugadai/>より申込
(運営協賛会社の嵯峨野株式会社のホームページとなります)
- お電話での申込 **0120-29-7000**
(受付時間 平日9:00~18:00)携帯・PHS利用可 おかけ間違いにご注意ください。

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

お問合せ先 駿河台大学 財務課 ☎042-972-1191
✉ zaimu@surugadai.ac.jp

